

毎月22日は「人権を確かめ合う日」です

人権のひろば

☎ 人権センター (TEL) 354-8609 (FAX) 354-8611

インターネットをどのように利用していますか

令和6年度に実施した四日市市民人権意識調査で、関心がある人権課題として「インターネット上の誹謗中傷^{ひぼう}などの人権侵害」を挙げた人の割合が最も高くなりました。

インターネット上での、誹謗中傷や差別的な発信など人権を侵害する行為は増加傾向にあり、昨年行われたパリオリンピック・パラリンピックでも選手に対するSNS上での誹謗中傷が問題になりました。

相手の人権を無視するような投稿は多くの人を傷つけて追い詰めてしまいます。インターネットは匿名性がありお互いの顔も見えな



いため、安易な気持ちで行ったことが重大な人権侵害につながることもあります。

また、一度投稿したものは半永久的にインターネット上に残るので、拡散されて取り返しのつかない事態になってしまう危険性もあります。

あなたの投稿はどうでしょうか。画面の向こうには多様な立場の人がいるということを念頭に置いて発信することが大切です。あなたの発信が誰かの人権を侵害していないか、考えて行動しましょう。



三重県知事と円卓対話

3月18日(火)に、三重県知事との「円卓対話」を行いました。「円卓対話」は、知事が各市町を回って、それぞれの地域課題などについて各市町の長と意見を交わす場です。対話に先立ち、整備が進む中心市街地をご案内し、四日市のまちなかのダイナミックな変化を知事にも体感していただきました。

今回の対話のテーマの一つである、本市への大学設置については、人口減少が進む中でも、この地域の産業を将来にわたって支えていくことのできる理系人材の育成の必要性を訴え、県の積極的な参画を要望しました。



四日市公署と環境未来館

知事からは、「四日市市は三重県にとっての生命線であり、市の発展が県にとって必須」との見解のもと、産業を支える人材の確保やJR四日市駅前に多くの人が集まることの重要性、また企業と一体となった学びができるポテンシャルといった視点から、本市の大学設置に大きく賛同をいただき、「県として最大限の協力をする」と力強い言葉をいただきました。

本市の市政について、知事とじっくりと語らう非常に良い機会となりました。